第九講　古文常識「病気」／「死」（『源氏物語』　葵）

〈読解練習〉　※本文中略あり。

（注）大殿（おほとの）には、御物（もの）の怪（け）いたう起こりていみじうわづらひ給ふ。「（注）この御生霊（いきすだま）、（注）故父大臣（こちおとど）の御霊（ごらう）など言ふものあり。」と（六条の御息所が）聞き給ふにつけて、思しつづくれば、「身一つの憂き嘆きよりほかに人を悪（あ）しかれなど思ふ心もなけれど、もの思ひにあくがるなる魂は、さもやあらむ。」と思し知らるることもあり。

（注）大殿には…葵の上〔＝光源氏の正妻〕におかれては。
（＊大殿＝ここでは「左大臣邸」のことで、さらにそこに住む「葵の上」のことを指す。）
この御生霊…六条の御息所〔＝光源氏の愛人〕の生霊。
故父大臣の御霊…六条の御息所の亡き父大臣の死霊。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

●わづらふ【煩ふ】
❶病気になる
❷苦しむ

●うし【憂し】
❶
❷

●あくがる【憧る】
❶うわの空になる
❷さまよい歩く・さまよう

★物の怪＝死霊・生霊。人にとりついて「　　　」にしたり、死なせたりする。

★加持祈祷（かじきとう）＝病気や災難をはらうのに行われる。

★験者（げんざ）＝病気を治したり物の怪などを退散させたりするために祈祷をする人。修験者（しゅげんじゃ）。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★「病気」系の単語

●なやむ【悩む】
❶病気になる
❷困る

●れいならず【例ならず】
❶いつもと違っている
❷病気

●いたつく【病く・労く】
❶病気になる
❷骨を折る・尽力する

関連　**いたつき【病き・労き】**…❶病気　❷苦労

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

●**ここち【心地】**
❶気持ち
❷考え
❸病気

●**ここちれいならず【心地例ならず】**
❶病気

●**あつし【篤し】**
❶病気が重い・病気がちである

●**おこたる【怠る】**
❶なまける
❷病気がよくなる

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

（六条の御息所が）少しうちまどろみ給ふ夢には、(注)かの姫君と思しき人のいと清らにてある所に行きて、とかく(注)引きまさぐり、うつつにも似ず、猛(たけ)く(注)厳(いか)きひたぶる心出で来て、(注)うちかなぐるなど見え給ふことたび重なりにけり。

（注）かの姫君…葵の上のこと。
引きまさぐり…引っぱっていじり。
厳き…気が強く荒々しく。
うちかなぐる…乱暴に揺さぶる。

●きよらなり【清らなり】
❶気品があって美しい様子

●うつつ【　　】
❶現実
❷正気
❸生きている状態

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

（葵の上の出産は）まださるべきほどにもあらずと、皆人もたゆみたまへるに、にはかに御けしきありて悩みたまへば、いとどしき御祈り数を尽くしてせさせたまへれど、例の執念（しふね）き御物の怪一つさらに動かず。やむごとなき験者（げんざ）ども、めづらかなりともて悩む。さすがにいみじう（注）調ぜられて、心苦しげに泣きわびて、「すこし（祈祷を）ゆるべたまへや。（注）大将（だいしやう）に聞こゆべきことあり。」とのたまふ。加持（かぢ）の僧ども、声しづめて法華経（ほけきやう）を誦（よ）みたる、いみじう尊し。

（注）調ぜられて…物の怪が調伏（ちょうぶく）されて。
大将…光源氏を指す。

（葵の上が）あまりいたう泣きたまへば、「何ごともいとかうな思し入れそ。さりともけしうはおはせじ。いかなりとも必ず逢ふ瀬あなれば、対面はありなむ。（注）大臣、宮なども、深き契りある仲は、めぐりて

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

も絶えざなれば、あひ見るほどありなむと思せ。」と慰めたまふに、「いで、あらずや。身の上のいと苦しきを、しばしやすめたまへと聞こえむとてなむ。かく参り来むともさらに思はぬを、もの思ふ人の魂はげにあくがるるものになむありける。」と、なつかしげに言ひて、…

（注）大臣、宮なども…（葵の上の）父親の左大臣も、母親の大宮なども。

「嘆きわび空に乱るるわが魂を結びとどめよ（注）下交（したが）ひのつま」

とのたまふ声、けはひ、（注）その人にもあらず変はりたまへり。「いとあやし。」と思しめぐらすに、ただ、かの御息所なりけり。

（注）下交ひのつま…下前（したまえ）〔＝着物の前を合せた内側の部分〕の先端。

＊この部分を結ぶと、魂をとどめておけるという俗信があった。

その人…葵の上。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

（左大臣たちが仕事のため出仕し、）(注)殿の内、人少なにしめやかなるほどに、にはかに例の御胸を(注)せきあげて、いといたう惑ひたまふ。内裏に御消息聞こえたまふほどもなく、絶え入りたまひぬ。

（『源氏物語』）

（注）殿の内…左大臣邸。
せきあげて…むせかえって。

●**せうそこ【　　　】**

❶手紙・伝言
❷訪れること・案内を乞うこと

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★「死」関連の単語

●うす【失す】
❶消え去る・いなくなる
❷死ぬ

●かくる【隠る】
❶隠れる
❷死ぬ

●みまかる【身罷る】
❶死ぬ

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

●その他の「死ぬ」の婉曲表現

はかなくなる【果敢無くなる】
むなしくなる【空しく成る】
いかにもなる【如何にも成る】
いたづらになる【徒らに成る】…ただ単に「むだになる・だめになる」の意味もある。
あさましくなる
ともかくもなる
いふかひなくなる【言ふ甲斐無く成る】

●かぎり【限り】

❶限度・限界　❷最大限　❸命の終わり・臨終
❹あいだ　❺全部　❻機会

関連　かぎりあるみち【限りある道】…❶死出の旅路

●いまは【今は】

❶臨終

関連　いまはかぎり【今は限り】…❶今となっては、もうこれでおわり　❷臨終

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第九講　復習問題

①「あつしく」の意味として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　情愛が深く　イ　信仰心が強く　ウ　気温が高く
エ　動揺が激しく　オ　容態が重く

②「おこたらむ折」の意味として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　暇になったころ　イ　怒りが薄れたころ
ウ　病が回復したころ　エ　しばらくたったころ

③「うつつ」を表す漢字として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　明　イ　現　ウ　闇　エ　空　オ　虚

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

④　次の中から「死ぬ」という意味にならないものを一つ選べ。

ア　身まかる　　イ　はかなくなる　　ウ　かくる
エ　むなしくなる　　オ　はげしくなる

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第九講

〔現代語訳〕

葵の上におかれては、物の怪がひどく起こってたいそう思いなさる。「（その物の怪が）六条の御息所の生き霊（だとか）、六条の御息所の亡き父大臣の死霊だなどと言う者がいる。」と（六条の御息所が）聞きなさるにつけて、お思い続けになると、「我が身一人のつらい嘆きをするよりほかに、他の人（のこと）を悪くなれなどと思う気持ちもないが、もの思いがあると身体から抜け出てさまようという魂は、そういうこともあるのだろうか。」と思いあたられることもある。

（六条の御息所が）少しうとうととなさる夢では、あの姫君〔＝葵の上〕と思われる人がとても気品があり美しくいらっしゃる所に（自分の生霊が）行って、あれこれと引っぱっていじり、正気の時とは異なり、猛々しく気が強く荒々しく一途な心が出てきて、乱暴に揺さぶるのを御覧になることが度重なってしまった。

（葵の上の出産は）まだそのような時ではないと、誰もが油断なさっていると、突然（ご出産の）兆しがあってお苦しみになるので、ますます御祈祷の数を尽くしておさせになるが、例の執念深い物の怪のひとつがまったく動かない。尊い修験者たちが、珍しいことだと困惑している。そうはいってもやはりひどく（物の怪が）調伏されて、（葵の上は）苦しそうに泣きつらがり、「少し（祈祷を）おゆるめください。大将〔＝光源氏〕に申し上げたいことがある。」とおっしゃる。加持の僧たちが、声を小さくして法華経を読んでいるのが、たいそう尊い。

（葵の上が）あまりひどくお泣きになるので、（光源氏が）「何事もひどくこのように思いつめなさるな。そうはいっても悪くいらっしゃるわけではありますまい。どのようになっても必ず（来世で）逢う機会があるようなので、きっとお逢いできましょう。父大臣や、母宮なども、深い縁がある仲は、生まれ変わっても切れないということなので、逢うことがきっとあるだろうとお考えなさい。」と慰めなさったところ、「いえ、そうではないよ。身体がとても苦しいので、少し（加持祈祷を）お休めくださいと申し上げようと思いまして。このように参上しようとは少しも思わないのに、物思いする人の魂はなるほど（体から）抜け出るものだ。」と、親しそうに言って、

「嘆きわび…＝嘆き悲しむ気持ちから（身体から離れて）空に迷う私の魂を結びとどめてください、下前の先端を結んで。」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

とおっしゃる声や、雰囲気が、その人〔＝葵の上〕ではなく変わりなさっている。「たいそう不思議だ。」と（光源氏が）あれこれ考えなさると、まさに、あの（六条の）御息所であった。
左大臣邸が、人が少なくひっそりとした時に、（葵の上は）突然いつものように胸がむせかえって、たいそうひどく苦しみなさる。宮中にお知らせ申し上げる間もなく、息絶えなさった。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第九講　解答解説

〔解説〕

①「あつし」は重要単語で、「病気が重い」「病気がちである」などの意味。よって、正解はオ。

②「おこたる」は重要単語で、「病気がよくなる」「なまける」などの意味。よって、正解はウ。

③「うつつ」は重要単語で、漢字で「現」と書く。よって、正解はイ。ちなみに「現実」「正気」などの意味。

④「はげしくなる」には、「死ぬ」という意味はない。よって、正解はオ。「死」を表す表現はたくさんあるが、テキストに載っているものは覚えておこう。

〔解答〕

①オ　②ウ　③イ　④オ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。